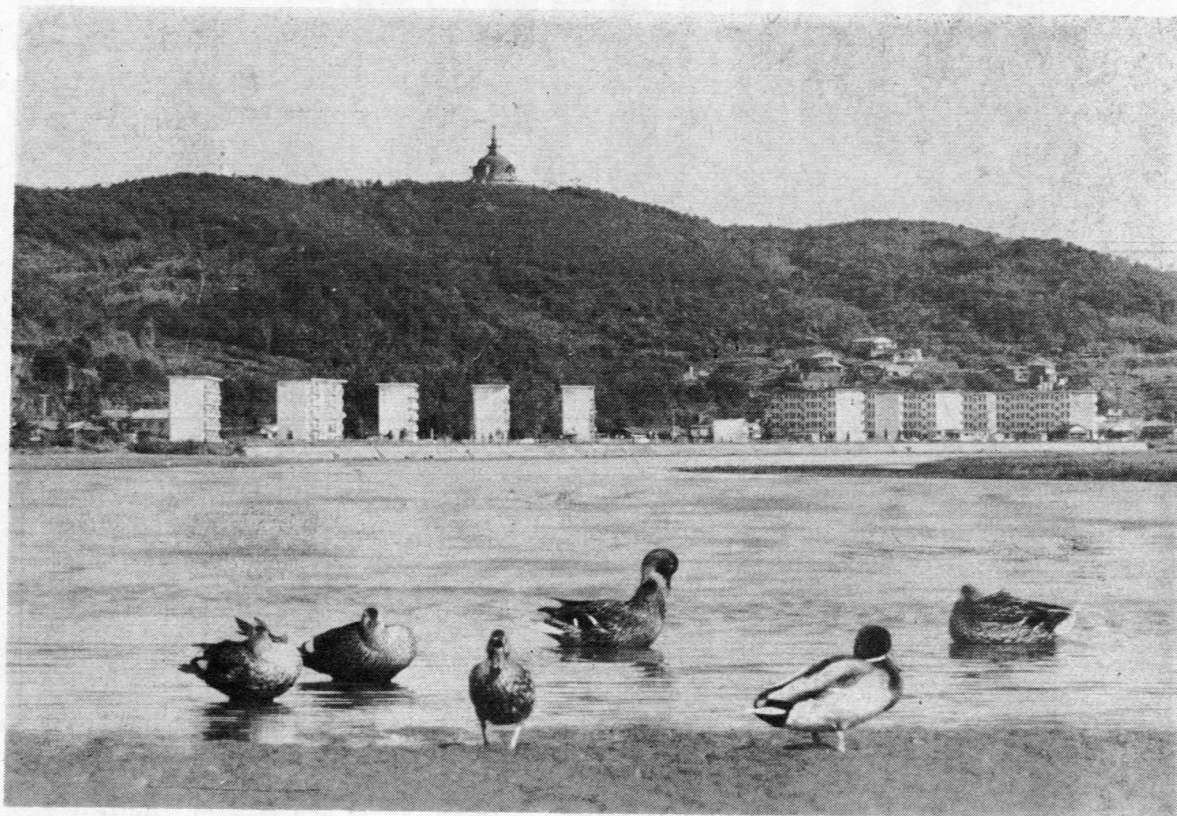


広報ひゅうが

人口

(11月1日 現在)

男	26,038人	83人増
女	28,937人	70人増
計	54,975人	153人増
世帯数	15,885	53増



.....とじて保存しましょう.....

冬の便り

まちの中央を流れる塩見川に、
今年も遠い北国から冬の便りをも
つてカモがやってきました。

カモの浮寝ク姿はまちゆく人
々に自然のうるおいをあたえ、短
い南国の冬にあらたな風情をそえ
ています。

日向市民憲章

- 一、会合の時間を正しく守り
ましょう
- 一、公共の物をたいせつにし
ましょう
- 一、教養を高めひろく人材を
育てましょう
- 一、積極進取の意気をもって
働きましょう

昭和 51 年

11 月号

昭和 51 年 11 月 21 日

(No. 258)

発行所 日向市役所 編集 総務課秘書広報係

文化功労者

甲斐勝さん

(学術部門
芸術)

昭和五十一年度(第九回)の日向市文化功労者に市内中原、市教育委員会社会教育課長の甲斐勝さん(四十三)が学術、芸術部門にわたる功績で選ばれました。

甲斐さんは、昭和七年十二月十六日延岡市に生まれ、三十年三月中央大学法学部を卒業して毎日新聞社に入社後、新聞記者として活躍され、三十四年四月、日向市役所に奉職して、現在にいたっております。

この文化功労者は学術、芸術、技術、体育、その他の五部門を対象に選定されるもので、今回は、学術、芸術部門にまたがる功労者として甲斐さんが選ばれ、十一月三日の文化の日に、市長室での授賞式が行われました。

甲斐さんは、これまでに郷土史として、「日知屋城物語」、「日向市の歴史」をはじめ、川島英夫



(写真は甲斐勝さん夫妻)

のペンネームで、「黒つつじ」など、数多くの作品を出版しております。中でも、日向市を舞台にした小説「小さな長い夏」では、第二回九州神縄芸術祭文学賞地区優秀賞を受けています。

また、昭和三十四年以来、同人誌「九州人」、「朱笛」の同人として創作活動に励んでおられます。とくに、本年四月自費出版された「天領と日向市」は、天領地としての歩みをたどった日向市のおいたちが、詳細な資料と、推理力



柏田利彦氏に

藍綬褒章



市内江良市の柏田利彦さん(六十二)が、市政発展に貢献、また工場誘致運動、教育施設の整備拡充など地方自治の振興発展に寄与したという功績により、藍綬褒章を受章いたしました。

柏田さんは、今日まで市議会議員を連続七期つとめられているほか、民生委員推せん会委員、日知屋小、富島中のPTA会長などもされました。

あふれたタッチで描かれ、おく深い日向市の史実研究書として評価されています。

こういった、郷土の歴史、先人たちの足跡などを現代のひとびとに紹介し、また、つぎの時代のひとびとに引き継ぐという作業にたずさわっていることや、日向市文化協会機関誌「ローレル」の発刊をたすけ、当市の学術、芸術に大きく貢献するなど、その功績が認められたものです。



空地の管理は？

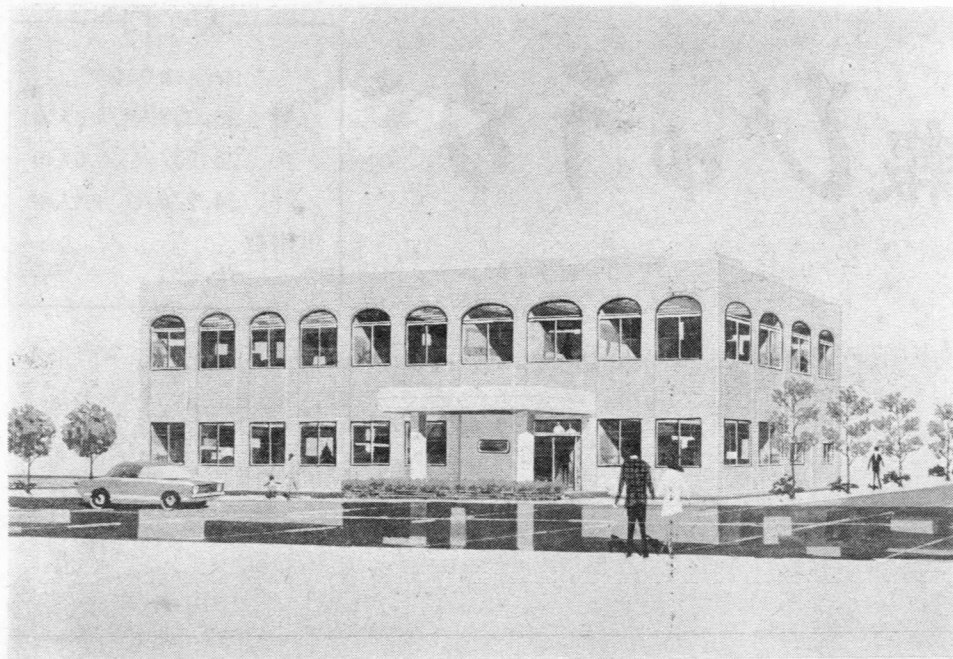
昭和四十九年に制定された、「日向市民の環境と自然をまもる条例」の第十八条では、空地を所有したり占有したりしている人に対する管理義務について定めてあります。

ところで、最近市街地の中でも雑草が繁茂している空地が数多く見受けられます。これらは、衛生害虫等が最も好む越冬の巣ともなりかねませんし、これから先の時期に発生する火災の要因となることも十分に考えられます。

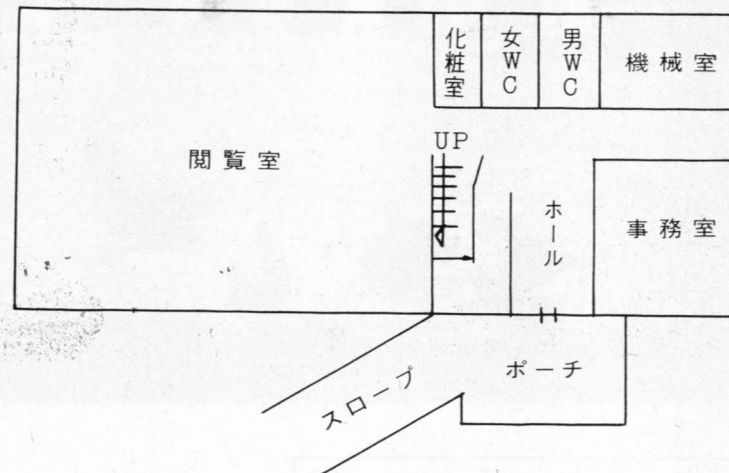
そこで、それらの空地を所有しまたは占有、管理をしているかたはできるだけ早く除草するか、その他の方法により、適正な管理をしてください。

こんな図書館ができます

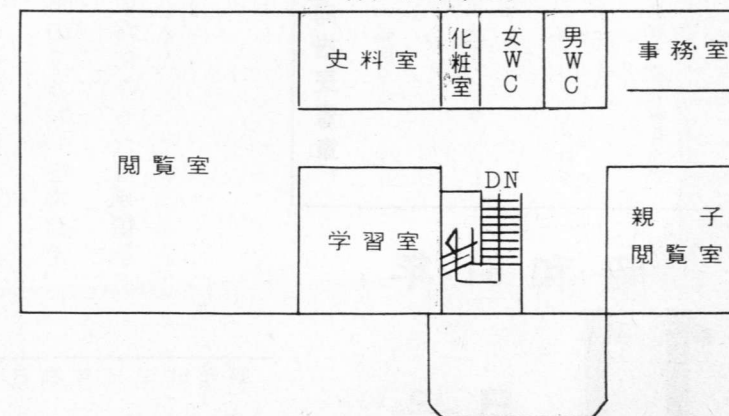
昭和五十二年三月 完成予定



1階平面図



2階平面図



市では、去る十月二十九日に招集されました市議会(臨時会)に工事請負契約関係の議案二件と、日向市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(選挙事務従事者の手当の改正)の一部を改正する条例を提案いたしました。

その結果、三議案とも原案のとおり承認、可決されました。

今回は、工事請負契約の締結として提案、可決された日向市立図

書館についてご紹介しましょう。

建設場所は、現在、職員の駐車場に利用しています市庁舎北側の広場東側半分です。

計画によりますと、建物は鉄筋コンクリート造りで二階建て、延べ面積五七二平方メートル、工事費四千八百三十八万円で、昭和五十二年三月三十一日の予定となっております。

一階は、第一閲覧室、事務室、機械室が設けられ、二階は、第一

学習室、第二閲覧室、史料室、資料室、親子閲覧室とそれぞれ設けられ、市民のかたがたに、快適な環境で学習、読書をしてもらえるように、全館冷暖房を設備してあります。

また、いままで二十八人分のいすしかなかった閲覧室も、一階が四十人、二階が七十人の合計百十人のかたがたを収容できるようになり、これまでのものより広々としたものになります。

よい政治あなた

12月12日

補欠選挙は

参議院議員



今回の選挙から候補者は、選挙運動期間中、一定の制限内で選挙用のビラを配ることができるようになりました。このビラを配る方法は法律で次のように限定されています。

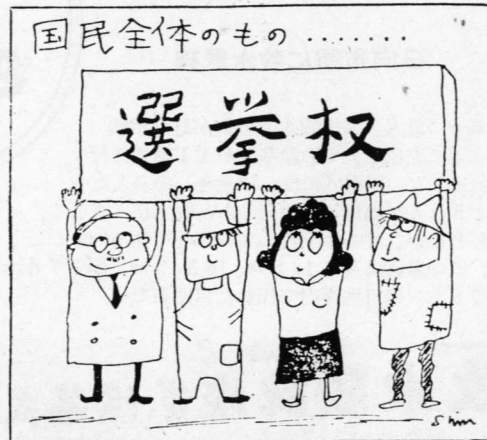
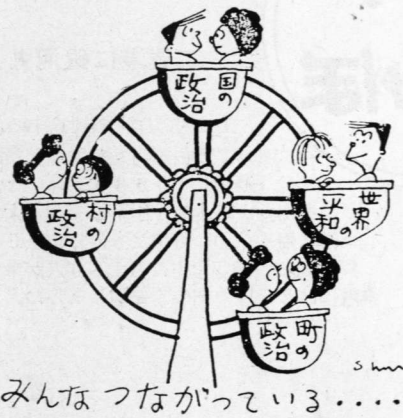
- 一、新聞折込みによる方法
- 二、選挙事務所においておき、訪れた人に配る方法
- 三、立会演説会の会場の入口で配る方法
- 四、個人演説会の会場で配る方法
- 五、街頭演説の場所配る方法

以上のとおりですが、とくにこのうち、一の方法は、新聞に特定

これは違反ではありません

—ビラの配りかた—

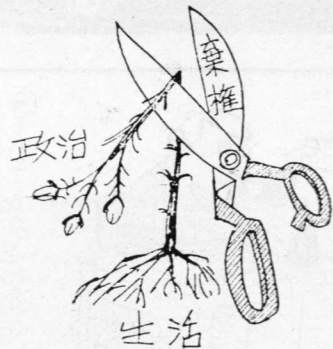
の候補者の選挙運動用ビラが折込まれているからといって、その新聞がその候補者、あるいはその所属政党を支持しているということにはなりません。



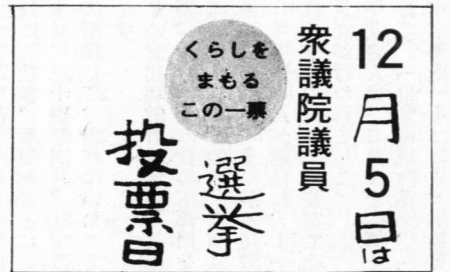
しかとたしかめて....



これでは育たない....



とわたしが育て役



こんどの選挙で 投票できる人は...

年齢

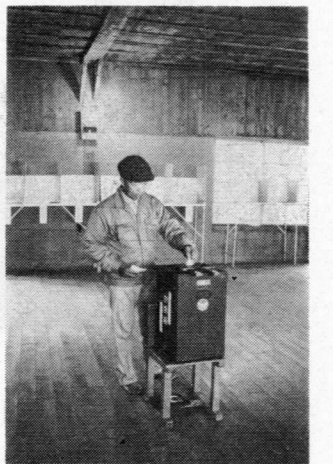
今度の二つの選挙で投票できる人は、昭和三十一年十二月六日までに生れた人です。

住所

住所要件は、昭和五十一年八月十四日までに、住民基本台帳に転入届をすませ、以来引き続き日向市内に住んでいる人です。

はつきりしない人は

自分が投票できるのかどうか、はつきりしない人は、市役所の選挙管理委員会事務局（市役所二階）で、選挙人名簿をたしかめて下さい。



選挙人名簿をよく確かめて
(市役所2階、市選挙管理委員会で確かめられます)



郷愁ただよう

「女馬子唄」

— 故 黒木 寛 作詩、作曲 —

（鈴も小唄も かすかになりて
やがて 木がくれ 草隠れ
閑所こえ行きや
馬屋が見える
もどりみやげに 紅ほしや

〃 女馬子唄 〃
女馬子唄 朝もやぬうて
行くよ 涼しい夏の原
勇む栗毛に 一むちあてて
娘唄えば 露が散る



大正時代に数多くの歌を作詞作曲し、楽器の考案などをした、日向市出身の音楽家、故黒木寛の顕彰碑が、寺迫小学校創立百周年記念をきっかけに建設されることになりました。

故黒木寛は、明治十三年十二月八日、市内美々津町高松に生まれ、明治三十六年宮崎師範学校を卒業したが、在学中の音楽的才能が認められ、県からの奨学金を受け東京音楽学院（現在の東京芸術大学）に進み、音楽の道ひとすじに歩いてきました。その後、母校の宮崎師範学校などの教職生活を約十年ほどおこなっていました。

大正八年ごろには、実用新案の特許にもなった「七色鍵盤」や「的体楽譜」などを考案するほか、作詞や作曲に励まれ、今日でも音楽をこよなく愛した黒木寛のありし日の姿がしのばれています。その中でもとくに、郷里のひとびとの心にきざまれ今日まで口ずさまれてきたものがありました。馬をひいて山道を行き来する馬子姿の娘を、里の香をただよわせる郷愁とそぼくさでうたいあげた「女馬子唄」がそれだったのです。

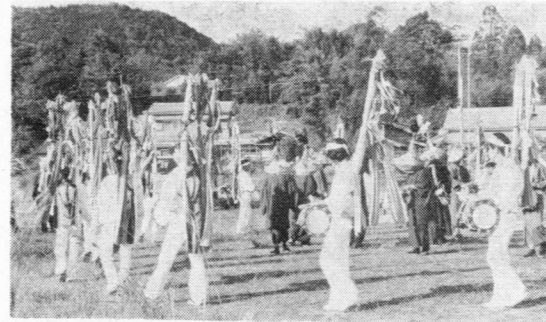
市では市制施行二十五周年を記念して、産業展及び第九回の消費生活展を開催します。産業展は市内の商工業製品、農産物、水産物などを展示即売するものです。また、消費生活展は生活コーナー、資源を大切にすることをテーマに設け生活に密着した問題がとりあげられます。会場は、青少年体育センターで十二月十八日から二十日まで開催されます。

開催されます

産業展・消費生活展が

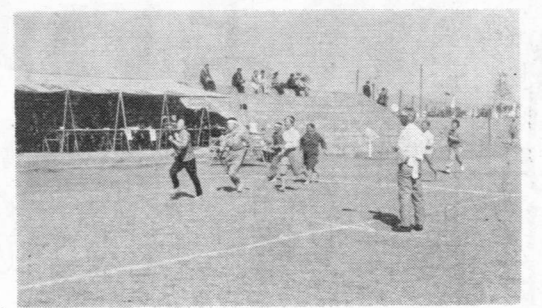
この歌は、黒木寛が大正十五年三月二十二日、四十七歳の若さでこの世を去る四年前、胸の病気で療養中に郷里の庭田峠（通称）で朝もやをついて馬をひいた幼いころを想い浮かべながら作詞したといわれています。

「女馬子唄」は、戦前、地域の人たちばかりでなく、全国各地で愛唱されましたが、こういった郷土の生んだ音楽家の偉業を顕彰し作られた歌を後世に継承していくということから、顕彰碑の建設となったのです。この碑は、「女馬子唄」にちなんで、作詞をしたといわれる庭田峠（寺迫小から約二キロ）に建設されることになり、大正時代の愛らしい女馬子の姿をしのばせてくれます。



26年ぶりの臼太鼓踊り

市内塩見地区に古くから伝えられている臼太鼓踊りが、地元の青年たちの熱意と、先輩の指導によって復活しました。この踊りは、昭和36年から中断されていたものですが、地元の人たちの努力によって部落の行事としては26年ぶりにひろうされたものです。



まだまだ走れますよ！

秋晴れの素晴らしい天気恵まれた、お倉ヶ浜運動公園では、第一回老人スポーツ大会が開かれました。この日は、朝早くから家族ぐるみで参加したおとしよりをはじめ約1000人のひとびとでにぎわいました。50メートル競争では、足のもつれるのも忘れてゴールまで完走し、若者に負けぬ心意気がうかがわれました。

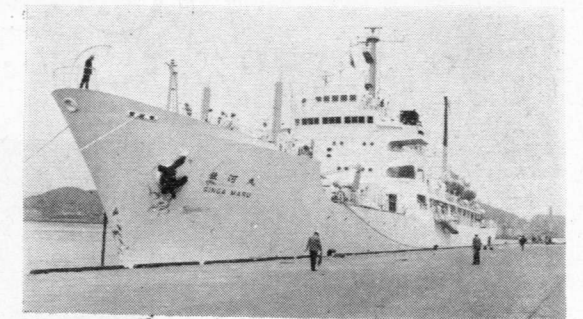
カラさんぽ

日向市駅に牧水歌碑

郷土の歌人、若山牧水の歌碑が日向市駅ホームに完成し、その除幕式が11月2日行われました。除幕式には、牧水をしのぶ人たちが約150人が出席し、除幕のあと牧水がこよなく愛した酒が、坪谷中学校の生徒の手で注がれました。この歌碑は高さ1.5m、横3.5m、厚さ78cm、重さ8トンの日向市内で採れた自然石です。

工業港に銀河丸入港

1カ月の洋上訓練途中の、運輸省航海訓練所の実習船銀河丸が細島工業港に寄港しました。銀河丸（5030トン）は、10月4日東京港を出港、日本海を南下して奄美大島を折り返し神戸港に帰る途中に寄ったものです。この船には東京・神戸両商船大学3年生たち180人が乗りこんでおり、工業港には27日の朝まで停泊しました。



戸籍謄本の請求には「使用目的」を明らかに
十二月一日から戸籍・除籍の謄本、抄本等の交付請求の手続きが改正されます。改正の理由は、戸籍を不当に利用して、国民のプライバシーを侵害することのないようにするためです。
今後、他人の戸籍や除籍の謄本抄本等を請求するときは、「請求の理由」つまり何の目的に使用するかを具体的に示していただくことになり、もし、その請求が不当な目的によるものである場合は、請求に応じられないこととなります。また、戸籍の閲覧はできなくなります。
なお、郵便で請求する場合も「請求の事由」を書き、手数料は必ず現金書留か、郵便局の定額小為替で納めてください。
とくに、本人といつわたり、うその事由を示して、戸籍の謄本の交付を受けたときは、過料に処せられることがあります。

ふるさとのお寺めぐり

幸福寺

このお寺は、大字平岩の本村というところにあり、文禄四年（千五百九十五年）に、当地の地頭をしていた松葉源之重景守が曹洞宗に帰依し、棟岩恵梁和尚となり建立したものです。
一説によりますと、文禄時代、当地域一帯が疫病や飢饉におかされたため、地頭松葉源之重景守はなんとかしてその災難から人々を

守り、地域の繁栄をもたらそうと禪宗入門し、曹洞宗通幻派の門人となって開基したものと伝えられ、その名も宝来山幸福寺と称されています。
したがって、今でも無病息災、家内安全を祈願するお寺として人々によく知られています。
さらに境内には観音堂もあって千手観音（子安観音）が置かれ、安産の祈願も行なわれており、それにあやかるように、樹令五百年と推定される夫婦蘇鉄の銘木が生植しています。

百四年を経た元禄十年一月、台雲寺七世の得岸了正和尚によって復興され今日、第十代久我一洋住職に至っています。

とくに現在では、幸福ブームにわきたち、観光コースとして賑わい、訪れる観光客のために、ワラジや土鈴などの記念品も陳列されています。

また、座禅も行なわれるほか、県下でただ当寺のみといわれる本膳による精進料理も随時希望に応じてつくられています。



おしらせ



成人式典の 参加申し込みをどうぞ

市では、来年一月十五日に新しく二十歳を迎える青年を祝い励ます「成人式典」を行います。
式典参加ご希望のかたは、氏名住所（詳しく）、生年月日、勤務先、世帯主名を市教育委員会社会教育課（勤労青少年ホーム内、電話二二一一内線四三六）までお申し込みください。
申し込みされたかたには、後日はがきで案内状を差しあげます。
なお、申し込みは、十二月十五日（水）で締め切ります。

身体障害者の 結婚相談所開設

日向市身体障害者団体連絡協議会は、このたび身体障害者のかたたちのために結婚相談所を、市社会福祉協議会事務所内に開設いたします。
相談所を利用されたいかたは、相談員、または身障連事務局（福

祉事務所内電話二二一一内線五六三）に連絡されて、詳しいことをおたずねください。
▽相談日 毎週月曜日、午後一時～三時
▽相談員 藤川荒太郎さん（平岩電話一五五四）
鈴木篤美さん（都町電話三八六九）

▽相談所 本町十番五号、日向市社会福祉協議会、電話二五七二

新成人者（有権者）の 感想文を募集します

市教育委員会では、来年成人式を迎えるかたの感想文を募集しています。
内容 ①「成人の日」を迎え、新成人者または社会人として、とくに地方自治や国政への参加について感じたり考えていること
②枚数 四百字づつ原稿用紙八枚
③応募資格 昭和三十一年四月二日から昭和三十三年四月一日までに生まれたかたで、日向市の成人式に参加する人
④原稿締め切り 昭和五十一年十二月十五日（水）
⑤提出先 市教育委員会社会教育課（勤労青少年ホーム内）
⑥選考 応募作品のうちから三編を選び、成人式当日に二編（男女）を発表していただきます。
⑦賞品 選考された三編について成人式当日記念品を贈呈します
⑧応募上の注意 応募者の住所、氏名、性別、生年月日、勤務先を原稿の末尾に明記してください。（字数制限外）

母親学級のご案内

じょうぶな赤ちゃんを産み育てるために、日向保健所では次のような要領で母親学級を十一月から開催いたします。
▽時間 毎月第一、二、三、四日（祝日を除く）午後一時～四時（学級所要時間は一時間三十分です）
▽場所 日向保健所二階講堂
▽内容 第一月曜日：産前産後のために、妊婦体操・妊娠中の異常
第二月曜日：妊娠中の栄養
第三月曜日：出産の準備
出産の補助動作



第四月曜日：お産がすんでからのこと、育児・お風呂の入れ方・家族計画
▽テキスト代 三百円
▽携帯品 母子健康手帳、筆記用具
▽主催 日向保健所（春町一丁目四七、電話五一〇一）

福祉手当制度を ご存じですか

この手当は、身体や精神に特に重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする程度の状態にある人に支給されるものです。
▼障害の程度
① 身体障害 身体障害者手帳一級程度の人
② 精神障害 知能指数二十以下または同程度にある人
▼制限事項
① 日本国民で、老人ホーム、精神薄弱者施設、身体障害者施設、養護施設などの施設に入所していないこと
② 障害福祉年金を除く障害年金や障害年金などの給付を受けていないこと
▼支給月額 五千元
なお、この手当の請求手続きなど、くわしいことについては、市福祉事務所厚生係におたずねください。
電話 二二一一、内線（五六四）

休日在宅医

十二月中

5 日	樋口病院（電話二一〇三六） 稲原医院（電話二二〇九） 吉田医院（電話四四〇一）
12 日	千代田病院（電話七一一） 柳田医院（電話二九五〇） 田中病院（電話一四六六）
19 日	二木医院（電話四四六八） 吉森医院（電話四〇四六） 協和病院（電話二八〇六）
26 日	橋口医院（電話二六〇〇） 永田医院（電話三三八八） 田中医院（電話二五一五）
29 日	渡辺病院（電話一〇一一） 鮫島医院（電話二八一九） 高木医院（電話四三一一） 黒木医院（電話六〇五五）
30 日	白石導院（電話一三六五） 山中医院（電話二二六六） 此元医院（電話五四八八）
31 日	松岡医院（電話五四〇七） 沼田医院（電話三七八五） 三ヶ尻医院（電話五五五七）